

医療科学 第9、10回 平成16年6月21,28日
番号 氏名

目的 本年度後期生理学実習に先立ち、実習項目「誘発筋電図」に関連した文献を検索し、基礎的な知識を整理し、臨床ではどのような分野で、どのような知見を得るために応用されているかを理解する。

次の3課題につきレポートを各自作成し、提出する。

課題 筋電図実習に必要な、次の基礎的な事項について理解する。

- (1) 神経筋単位 neuromuscular unit とは何か？
- (2) 筋電図とはどのような現象を記録したものか？
- (3) 筋電図の記録には、表面電極（筋を覆う皮膚に記録電極を装着する）と針電極（直接筋肉へ記録電極を刺入する）が使われる。それぞれの記録法のメリットを考える。（実習では表面電極を使用する）
- (4) 筋電図の記録には、自発的な筋活動（安静時や運動時）と、筋活動に關与する特定の部位を刺激して筋活動を誘発させたときの筋活動を記録（誘発筋電図）する場合がある。

自発筋電図では、どのような事が明らかになるか。

誘発筋電図では、どのようなことを明らかにするために、どのような操作を行うか。

課題 実際に誘発筋電図が、臨床診断の補助あるいは確定法として応用されている文献を、次のいくつかの観点から組み合わせて選び検索する。

各自興味ある症例・疾患との関連から（例えば、片麻痺、顔面神経麻痺、疲労、肩こり、腰痛、股関節症、咀嚼運動、ジストニア、手根管症候群、神経鞘腫、パーキンソン病、Lambert-Eaton 筋無力症 Ramsay Hunt 症候群、神経再生筋無力症、ニューロパチー、ミオパチー）

診療科目との関連から（例えば、神経内科、整形外科、内科）

体部位あるいは機能との関連から（例えば、手・指、眼、足、体幹、腰部、伝導速度）

神経系との関連から（例えば、大脳、小脳、脊髄、大脳基底核）

課題 検索した抄録をプリントアウトし、その内容の中で解らない事項があれば調べ注釈として記載する。もし、その主題が臨床と関連しているものならば、その症例・疾患について理解する。その上で、筋電図で何を知らうとしたか、何が明らかになったか、をレポートにまとめる。